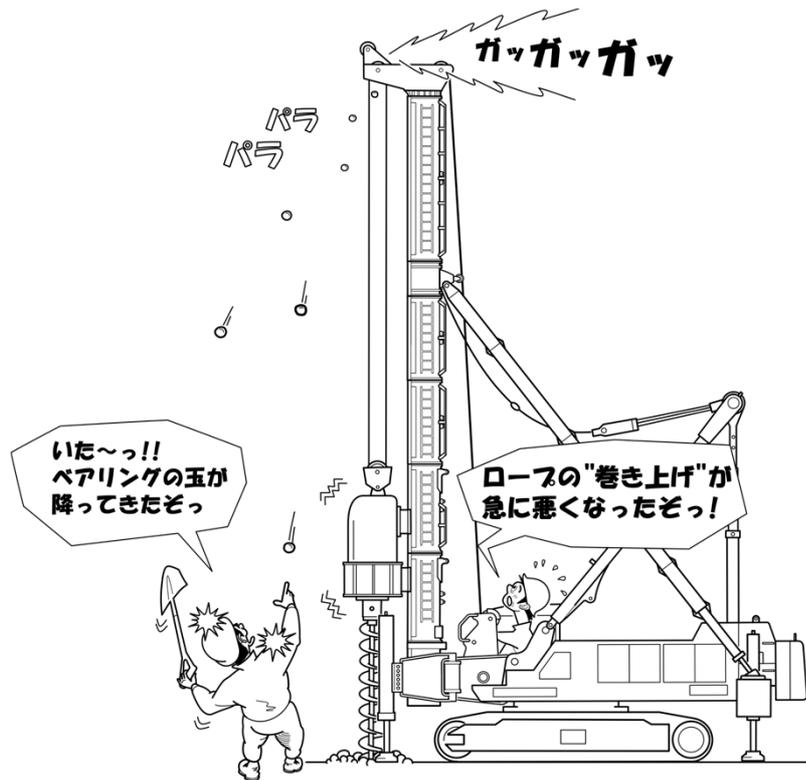


事例-2

事故内容 3点支持式くい打機のトップシーブベアリング破損

くい打機にアース・オーガを装着して地中連続壁を造成中にオーガを巻上げた所、トップシーブのオーガ吊りシーブベアリングが破損して、ベアリングの鋼球が地上に飛散した

- ・事故現場 : 建築基礎工事
- ・被災状況 : なし



事故原因

- ① トップシーブのベアリング(シール型玉軸受)の摩耗若しくはシールの劣化により封入グリースが流出して潤滑不足となり、保持器が焼付き破損をきたして鋼球が脱落した。
- ② 特定自主検査の記録では検査がなされていたが、ガタ付きや手回し異音の点検など十分な検査がなされなかった可能性がある。

対策

- ① 月例検査や特定自主検査、および現場での機械組み立て時に点検する。
- ② 検査者は機械が施工状態の姿勢で点検が困難な箇所については、検査方法や診断方法等について、日常的に研鑽を図る。

関係法令

法20(1)(事業者の講ずべき措置等)
法26 (労働者の遵守義務)

則165 (修理等)
則167 (定期自主検査)
則169 (定期自主検査の記録)
則171 (補修等)
則192 (点検)